

1	審議会名	平成29年度第1回西部公民館運営審議会
2	日時	平成29年5月10日(水)午後6時30分から午後8時30分まで
3	会場	上田市西部公民館大ホール
4	出席者	松本千恵子会長 小市武志副会長 溝口悦子委員 山崎順子委員 曾根原義治委員
5	市側出席者	滝沢館長、中村次長、中部主査、滝沢主事、清水社会教育指導員、滝沢社会教育指導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年5月11日

協議事項等

1	開 会(事務局)
2	あいさつ(会長)
3	審議事項 (1)平成29年度事業について (事務局)一括説明 ~質疑応答~ (委員) 利用者団体の増減について、昨年と比べてどのような状況が教えてほしい。 (事務局) 西部公民館公民館は、2団体の増、塩尻地区公民館は2団体の減である。 (委員) 利用者団体の増減と、利用者数の増減は、何か関係があるか？ (事務局) 西部公民館は、微減傾向にある。塩尻地区公民館は、微増傾向にある。総体では、横ばいの状況であると認識している。 (委員) 取組事項として、利用者団体協議会の立ち上げ、という項目があるが、その意図、趣旨はどのようなものか？ (事務局) 公民館の利用方法やマナーについて、団体同士が協議、協力しあえる体制を作りたい、という意図である。また、公民館まつり等のイベントの核となる母体となってもらいたい。 (委員) 他の公民館には、横の連絡を取る、そのような組織があることは知っていた。西部公民館でも、ぜひ、そのような組織を作ってやっていってほしい。 (委員) 工芸棟を利用する団体は？ (事務局) 陶芸愛好家が、他の地域で活動している、ということをお聞きしている。そういう方々が集まって、団体を作っていたらと考えている。 (委員) 公民館まつりの立ち上げ、ということだが、某センターの発表会に携わっていて、会議が多く、準備も必要以上の人数を呼び出されて、大変な思いをしている。毎年改善点が指摘されているが、改善もされていない。発表団体が多くなった場合、その調整も大変である。どんなふうに考えているか？ (事務局) 発表は、強制ではなく、団体の皆さんの、やりたいという気持ちで参加していただければと考えている。運営については、多少の混乱は予想されるが、ご指摘のあるようなことのないよう、参加団体とよく相談しながら、合理的に進めながら、意義のある公民館まつりにできればと考えている。 (委員) 利用者団体の数は、西部公民館は、他に比して、多いのか。 (事務局) 単純な数のみで見れば、今は少ないが、人口比で言えば、数は多いと認識している。他の公民館も、建物が新しくなった後の数年で、約2倍に利用者団体

が増えている。

(委員) 活動しているみなさんは、発表の場があって、それをきっかけに、ますます自分が行っている活動が楽しく、やりがいのあるものになっていく、ということがあると思う。利用者団体の活動が活発になるように、うまく調整していただきたい。

利用者団体協議会の立ち上げ方が大切だと思う。そこから、公民館まつりの成功につながっていくと思うので、うまくやっていただければと思う。

公民館まつりを形にすることを通して、携わるみんなの気持ちが一貫するよう、公民館側でも導いていってもらいたい。活発な利用につながることを期待している。

(2) 上田市公民館条例中一部改正(使用料改正)について

(事務局) 一括説明

~ 質疑応答 ~

(委員) 詳細な計算方法により計算されていることがよくわかった。

利用する立場としては、利用しやすいように、できるだけ安く利用できるようこれからもお願いしたい。

(3) 「信州型コミュニティスクールと公民館の役割」について

(事務局) 一括説明

~ 質疑応答 ~

(委員) 意見をいただく視点について、確認をしたい。子どもの視点か、組織の在り方か、まずはざっくりばらんに、ということか。

(事務局) まずはざっくりばらんに、お願いしたい。今後は、公民館の役割、ということ念頭に、意見をお願いしたい。

(委員) 資料にある、組織図について、質問したい。さまざまな事業があって、「コーディネーターによる調整」という項目が、中心に位置している。この場合の「コーディネーター」は、だれをイメージすればよいのか。

(委員) 西小学校では、PTA中心の本読みはPTAの中で調整してもらっている。見守り隊は、教頭が中心で、連絡係の子どもを通して、見守り隊の隊員の方々に通知等届けている。見守り隊と子どもたちの交流の企画もある。それ以外の活動については、西部公民館が中心となっている。

コミュニティスクールの運営委員会では、それぞれの事業の横の連携をもう少しあるとよい、指摘もある。

(委員) 西小学校の場合、コーディネートの機能が一本化、一人の専任の担当がいる、という形ではない、ということか。

(事務局) それぞれの事業にコーディネーターがいるという形である。米づくりは次長、学習支援や環境整備は社会教育指導員が担当している。何人もコーディネーターがいる形が西小の方式である。

(委員) 資料で使う言葉について、「CS」とただ書いているだけでは、何のことかわからない人もいる。注を入れてもらうとわかりやすい。

今日は塩尻小や二中の資料がない。どのような状況なのか？

(委員) 上田市教育委員会として、平成28年度までに、全校にコミュニティスクールを立ち上げるという目標が掲げられている。塩尻小や二中もCS運営委員会のような組織はすでに立ち上がっているのではないか。

(委員) 塩尻小や二中は、現在は公民館と関わりなく、様々な取組がされている、ということであるが、事業を推進するにあたってモデルケースの情報交換や、困ったときの相談相手などとしては、公民館は機能していく、という考え方でよ

いか。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 国(文科省)と信州型の違いは。

(委員) 国は、学校評価、学校運営、教職員任用に関する意見の3本柱から成りたっている。その中で、人事評価を学校運営協議会等が行う権限を持っている、ということが大きな違いである。信州型は地域が支援していくことがメインの眼目である。

(委員) コーディネーターについて、1人が全てやっているようなイメージを持っていた。

(委員) 私も同様である。話を聞けば、なるほど、と思うが、外から見ているだけでは、なかなかわからない。

(委員) 西部公民館の建物の後利用は難しいという話は聞いているが、跡地はどうするのか。PTAや北保育園の保護者が駐車場が困るので何とかしてほしいという意見がある。

(事務局) 現在の市の方針は、解体後、産院跡地とあわせて、売却を行っていく、というものである。

(委員) 学校支援の活動の見学を希望するが、全員一斉にか、委員個別にか、どのような形を想定しているか。

(事務局) 今年度は、全公民館で、信州型コミュニティスクールと公民館の役割について、公民館運営審議会に諮問を行っている。正副会長会が予定されており、そこで審議の進め方について相談される予定である。その後、見学の方法についても、方向性を定めて、委員の皆さんに投げかけをしていきたい。

4 その他

次回の会議日程は、会長と事務局で相談して決めさせていただきたい。

5 閉会(事務局)